

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

# 彩の国パタンク通信

第72号

編集 埼玉県ペタンク・プール連盟  
企画・編集 広報部(森)  
連絡先 048-572-1885  
Mail: petamori1885@gmail.com



## 埼玉県エフジヨイマップの検証

令和2年8月2日(日)、埼玉県ペタンクエフジヨイマップの検証を行い、待機者が試合中エフジヨイマップの検証を行うためのシミュレーションを各専門部会の部長、副部长及び、役員から20名程が参加して行われた。

集合したのち、全員の検温から始まり、朝の体調はどうなのかを参加者名簿に記入した。

例年であれば8月最初の日曜日は県連盟主催の部対抗。パタンク大会が行われ、食事をとりながらのにぎやかな大会を開催していたが、今年は新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から大会は



中止となり、埼玉県エフジヨイマップの検証を行い、待機者が試合中エフジヨイマップに沿った試合をしていくのかチェックをした。試合終了後には、検証結果について話し合いを行い、様々の意見が出された。

### 主な指摘事項は左記のとおり

- ① 気づかないうちに選手間同士が密になっている。
  - ② ビュッと又はサークルを拾い上げるときは両チームが使うのと同じくらいのか。
- 共有のものを使うので、試合終了

後の手洗いを徹底すること。また、気になる人はボール拭き等で取り上げることが出来る。

### ③ 得点つけは?

鉛筆、得点票が共有になるので受付時に各チーム一式 鉛筆、得点票を用意し、試合前にどちらのチームが得点を付けるか決める。終了時のサインも両チームでスコアを確認し、記入者が相手チーム代表者名と了解OKなどと記入すること。

### ④ メー又終了時のボールの拾い上げ方は?

ポイントを取れなかったチームから拾いあげる。その際には遅延行為をしないこと。意識の改革が必要ですね。

### ⑤ 計測中が密になっている。

相互審判となることから、代表者1名ずつで確認し、他の人は離れて待機すること。

### 第13回黒田オープンパタンク大会

9月13日(日)参加チームは県内に限定し、埼玉県。パタンクエフジヨイマップに準じた対策を取り、開催する予定でしたが、当日、早朝の豪雨により黒田大会は中止となった。

今回、コロナ禍、県内初の大会開催を目指した黒田パタンククラブの斉藤会長にお話しを伺うことができた。

「コロナ禍の中、県内初の大会となり多くの方から期待をされて24チーム程の参加を予定していましたが、16チームの申し込みがあった。2週続けて台風が発生し、天気予報を気にしていたが前日の夜11時頃より雨が降り始め、当日の朝5時に大降りとなり、グラウンドに行ったら水たまりもできていて、迷いもあつたが5時30分に大会中止を決定し、参加チームに連絡を入れた。前日の昼間は晴れていたため期待をしていたはずだったので残念であった。

エフジヨイマップに沿ったコート作りを考えていたので、この状態ではスタッフの人数も少ないこともありグラウンド整備にも時間がかかる」と判断した結果である。

ビニール手袋の用意、選手が触れるものに対しての最低限の消毒をどうしたらいいのか考えさせられた。



# 令和2年度埼玉県パタンク・ボール連盟表彰式

7月18日、第1回理事会に於いて、埼玉県におけるパタンクの普及振興に著しく貢献した方々を表彰する表彰規定に基づき、「功労賞」「感謝状」「特別賞」が井上会長より授与された。



受賞者の皆様より「メントをいただきました。

## 感謝状

三郷市パタンク協会  
滝澤隆

この度の思いがけない表彰を心より感謝しております。

今後もパタンク競技の普及、心身の健康づくりに力を注いでゆく所存です。県パタンク・ボール連盟の益々の発展を祈念することにも、皆様の「活躍を心より願っております。



## 感謝状

さいたま市パタンク協会  
宮崎三津子

パタンクと関わりを持たせて頂いて40年の歳月が流れました。

鉄のボールを小さな標的に寄せ、寄ったボールを相手がさらに寄せ、時には飛ばし、時には外し今思えばチームワークと技術 集中力が一つになった時結果は嬉しいものになっていったと思います。

連盟に貢献することもままならぬ状況にありましたのに、この度は感謝状を頂きありがとうございます。

皆様のますますのご活躍とご健康を祈念申し上げます。

## 特別賞

川本パタンククラブ  
柴田つねさん



今日は本当に身に余る光栄に、表彰していただきましてありがとうございます。

私はパタンクを生き甲斐としております。健康のためと思つて、皆さんに楽しませていただいているのに、表彰までいただいて本当に恐縮しております。

皆さんに助けられてここまで元気にやってこられたと思つており、これからもまた、いろいろな大会に年寄りですけど参加したいと思つています。川本クラブの方は本当に優しく行って

きたいと言うとどこへも連れて行ってくれます。

私たちみたいな者とも一緒に組んで下さって、1日楽しく遊ばせてもらいます。

埼玉県の役員の方達も本当にありがとうございます。また新しい希望が湧いてきましたのでよろしくお願いいたします。

## 功労賞

秩父市パタンク連盟  
茂木安敏



この度は功労賞の受賞、誠にありがとうございます。

平成13年に「町会対抗市民大会」を初めて開催し、町会を中心とした生涯スポーツとしての普及・促進に努めてまいりました。

現在、秩父市パタンク連盟は32クラブ・464名の会員となり、毎年多くの大会を行い、和やかに楽しみつつ交流を深めております。

今後とも生涯スポーツとしてパタンクの普及・発展に努めてまいります。



功労賞

秩父市ペタンク連盟  
小久保洋子

この度は功労賞をいただき大変光栄に思っています。

平成13年、井上勇司会長ご夫妻のご指導をいただき、ペタンクを普及させるため、秩父市ペタンク連盟を立ち上げました。

活動としての想い出は、吉田元気村における各宿、県内外への大会に出場し多くのペタンク仲間が出来、今でも交流が続いていることに幸せを感じております。

今後とも、自ら楽しみながら皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っております。

功労賞

秩父市ペタンク連盟  
大山綱秀



本当に過分なる賞をいただきましてありがとうございます。

私のペタンクの人生というのは、平成

3年に秩父市の生涯スポーツ推進としてニースポーツを取り入れるというところからで、いくつかの新しいスポーツがありました。その中でペタンクの講習会をしようかという話になりました。ナイターで練習をやり、ペタンクというのは意外と面白いものだな」と思っていました。

平成4年には、市も行政が全面的にバックアップする」という事で、スポーツフェスティバルという大会で町会対抗のペタンクが始まりました。

平成16年に栗原前市長から「なにか年寄りができるスポーツはないか」という話があり、ペタンク用具を市で42町会全部へ12個配り、我々が講習会をする事になりました。

そして、平成20年ぐらいに連盟を立ち上げました。関東甲信越大会、東日本大会を3年間、昨年は、全日本大会を開催していただきました。

これは行政の力もありますけれども、やはり埼玉県連盟の役員の皆様のお力なくしてはできませんでした。

私は、ペタンクをやつて一番いいのはペタンクを通じて皆さんが健康になること、楽しくなることだと、常に言ってきました。技術は二の次だと言ったのですが、昨年の日本選手権では男女とも秩父が優勝しました。

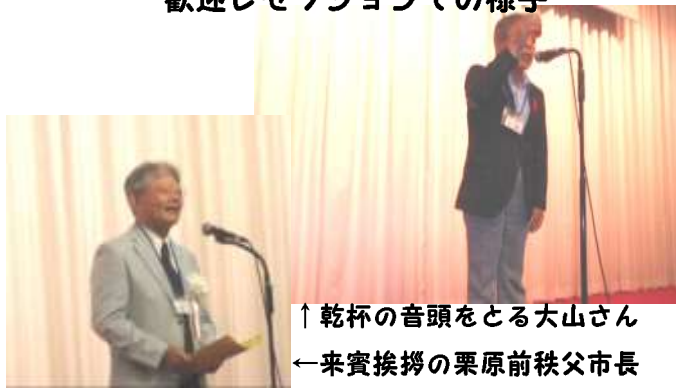
これは秩父市の役員や、ペタンクをやっている方々の熱意もありました。

そんなこともあつてペタンクに出会つてよかつたな、と今でも思っております。私は78歳ですが、ペタンクを通じて多くの皆様と知り合えたというのが本当に幸せでございました。今日は市長が居りませんが、市長に成り代わりまして、厚く御礼申し上げます。

私は12年間秩父市のペタンクの会長を務めました。この4月の総会で大榎さんに譲りました。今度私はいちペタンカーとして選手で出ますので、よろしくどうぞ。ありがとうございます。



第34回日本ペタンク選手権大会(秩父) 歓迎セレプションの様子



↑乾杯の音頭をとる大山さん  
←来賓挨拶の栗原前秩父市長

埼玉県ペタンクボール連盟 表彰規定

■功労賞 第2条第1項)

本法人役員及び市町村連盟(協会)役員として、長年にわたり振興発展に功績のあつた者

優秀選手の育成指導に特に功績のあつた者

■特別賞 第2条第3項)

本法人の振興発展に特に顕著な功績のあつた者及び団体

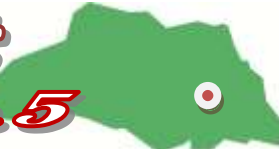
■感謝状 第6条)

第2条に定めるもののほか、会長が必要と認めるときは、感謝状を贈呈する事ができる



**Pick Up!**

**ペタンク探訪 No.5**



健康で生涯スポーツとして実践してもらえる様に近所の3名でスタートしました。

又、有り難い事に地元の協力で近所に専用コート(5面)2013年5月に出来あがり本格的にクラブ活動に入りました。 歩ける範囲の人達が興味深く多くの方が参加いただきましたがこのコートは住宅が出来る為他の所に移動することになりました。



**何時でも、誰でも、笑いの有る楽しい皆さんのクラブが創設の目的です。**



新天地のコートも地元会員さんの敷地と市役所の補助金で完成いたしました(全体面積781㎡)。コートは小さな砂利と、砂地と、山砂の基本3面です。別に予備2面あります。

場所はスーパー(ベルク上尾東店)前で利便性がとても良いのと木陰とシートで涼しく楽しい環境になりました。



新しい会場になりましたので新しい組織にもなりました(65歳以上ですが)、会長:川田定雄、会計:山口義春で一段と楽しいクラブができています。現在会員は17名(70歳以上12名、その他月1非会員不定期の人が5~7名)南地区4名いますので火曜日は上平広場で練習、水曜日、金曜日、土曜日で9時30分~(ベルク前)。

会員は年齢なのか対外試合はあまり参加しただがらずクラブ内で体を動かし笑って楽しんでいます。お陰様で素晴らしいコートが出来ましたのでしっかり練習して大会に参加し大会を楽しみたいと思っています。是非会場に皆様遊びにおいでください、

訪問日:令和2年6月24日(水) 取材 水野広報部員

**新型コロナウイルスにかからない、うつさないための 高齢者の日常の新しい生活様式**

新型コロナウイルス感染症にかからない、うつさないために人が多く集まる場所を避けることなどが言われています。その為、高齢者にとっては、ずっと家に閉じこもり、一日中テレビを見てボーっとしていたり、食事もたまに抜いてしまう、誰かと話すことも少なくなった…などの「生活不活発」による虚弱(フレイル)が進みます。 そうならないために適度な運動(※1)、栄養バランスの良い食事、心の健康(メンタルヘルス)を保ち、質の良い睡眠が求められます。

※1 立ったり歩いたりする時間を増やすことも大切です。テレビのコマーシャル中に足踏みしてみるなど身体を動かしてください。また、自宅の片付けや掃除も結構な運動量になります。

出典：公益財団法人長寿科学振興財団 健康長寿ネット

<https://www.tyojyu.or.jp/net/topics/tokushu/covid-19-taisaku/new-normal.html>